

平成 22 年 6 月 18 日

各 位

ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社
森永乳業株式会社

家庭用および業務用紅茶製品の営業販売活動の移行について

ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社（以下、ユニリーバ・ジャパン）と森永乳業株式会社（以下、森永乳業）の両社は、本年 10 月 1 日（予定）より、ユニリーバ・ジャパンのリプトンブランドの家庭用および業務用紅茶製品（紅茶バルク製品を除く）について、森永乳業を販売総代理店として森永乳業の販売網で販売していく新営業体制をとることで合意いたしました。その概要につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 合意の背景

ユニリーバ・ジャパンは、ユニリーバ・グループの成長戦略に沿って紅茶事業の更なる拡大を目指すため、リプトンブランドのリーフティー（ティーバッグ等）の家庭用および業務用紅茶製品（紅茶バルク製品を除く）について、パートナー企業との協働モデルを検討してまいりました。今回の森永乳業との合意により、ユニリーバ・ジャパンは消費者向けのマーケティングに特化し、さらに魅力ある競争力の高い製品開発を行ってまいります。また、ユニリーバ・グループのスケールメリットを活かしながら、高品質かつ安全・安心な製品製造を継続的に行ってまいります。

森永乳業は、昭和 59（1984）年からユニリーバ・グループと商標使用許諾契約を結び、リプトンブランドの紙容器入りチルド紅茶飲料等の製造・販売を行っております。今回のユニリーバ・ジャパンとの合意により、リプトンブランドのリーフティー（ティーバッグ等）の紅茶製品を自社の家庭用および業務用の販売網で販売することで、リプトンブランド製品全体の一層の拡販を目指してまいります。

今回のユニリーバ・ジャパンと森永乳業との本紅茶製品に関する新営業体制への移行は、ユニリーバ・グループと森永乳業の両社の長所を活かした最大限のシナジー効果を実現していくためのものです。

2. 新営業体制における営業販売活動の対象

リプトンブランドの家庭用および業務用紅茶製品（紅茶バルク製品を除く）

3. 移行時期

平成 22 年 10 月 1 日(予定)

4. 当事者の概要

○ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社

ユニリーバ・ジャパンは、170 カ国以上で販売される世界最大級の消費財メーカー、ユニリーバ・グループの日本法人であり、粧業品・食品のマーケティングおよび営業、カスタマーサービスを担当する会社。

代表取締役社長 上垣内 猛

本社 東京都目黒区上目黒 2-1-1 中目黒 G T タワー

○森永乳業株式会社

牛乳乳製品の製造販売を主とする売上高国内第二位の総合乳業会社。

昭和 24 年 4 月設立。

代表取締役社長 古川 紘一

本社 東京都港区芝 5-33-1